



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年8月7日

上場会社名 ライオン株式会社

上場取引所

東

コード番号 4912 URL <https://www.lion.co.jp/ja/>

代表者（役職名）代表取締役兼社長執行役員（氏名）竹森 征之

問合せ先責任者（役職名）執行役員 経理部長（氏名）竹生 昭彦（TEL）03-6739-3711

半期報告書提出予定日 2024年8月9日

配当支払開始予定日 2024年9月4日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、証券アナリスト等向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に 帰属する中間利益		中間包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	198,634	3.0	13,357	113.9	15,517	114.6	11,227	120.3	9,931	131.0	21,076	49.2
2023年12月期中間期	192,887	4.2	6,244	△56.2	7,229	△54.1	5,096	△55.3	4,298	△61.1	14,125	△18.1

(注) 事業利益 2024年12月期中間期 9,554百万円 (50.2%) 2023年12月期中間期 6,363百万円 (△30.0%)

事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除したもので、恒常的な事業の業績を測る当社の利益指標です。

	基本的1株当たり中間利益		希薄化後1株当たり中間利益	
	円	銭	円	銭
2024年12月期中間期	35	76	35	71
2023年12月期中間期	15	12	15	09

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円		百万円		百万円		%	
2024年12月期中間期	482,251		304,326		285,282		59.2	
2023年12月期	486,363		298,134		280,316		57.6	

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年12月期	—	13.00	—	13.00	26.00	
2024年12月期	—	13.00	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	14.00	27.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	410,000	1.8	27,000	31.7	19,000	29.9	66	81

(注) 1. 事業利益 通期 23,000百万円

2. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期中間期	284,432,746株	2023年12月期	292,536,446株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	8,044,717株	2023年12月期	8,075,507株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2024年12月期中間期	277,720,624株	2023年12月期中間期	284,351,758株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述している業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、経済情勢、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、上記予想数値とは大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料6ページ「1. 当中間期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約中間連結財政状態計算書	7
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	9
(3) 要約中間連結持分変動計算書	11
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(セグメント情報)	15

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間期の連結業績は、売上高1,986億3千4百万円(前年同期比3.0%増、為替変動の影響を除いた実質前年同期比0.2%増)、事業利益95億5千4百万円(前年同期比50.2%増)、営業利益133億5千7百万円(同113.9%増)、親会社の所有者に帰属する中間利益99億3千1百万円(同131.0%増)となりました。

当社グループは、中期経営計画「ビジョン Vision 2030 1st STAGE」の最終年度となる本年を、これまでの計画の進捗等を踏まえ、次期中期経営計画を見据えた収益基盤再構築の年と位置付けております。

成長戦略の中心となる海外事業においては、中国で店舗販売チャネルを強化するなど、引き続き積極的な事業拡大施策を推進しました。

国内においては、高付加価値点眼剤の新製品を発売するとともに、新しいオーラルケアの選び方を提案する新ブランドを導入し育成に努めました。併せて、収益性の改善に向け、薬品分野の一部ブランドを売却するなど、ポートフォリオ改革も着実に推進しています。

【連結業績の概況】

(単位：百万円)

	当中間期	売上比	前中間期	売上比	増減額	増減率
売上高	198,634		192,887		5,747	3.0%
事業利益	9,554	4.8%	6,363	3.3%	3,191	50.2%
営業利益	13,357	6.7%	6,244	3.2%	7,113	113.9%
親会社の所有者に帰属する 中間利益	9,931	5.0%	4,298	2.2%	5,632	131.0%

(注) 事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除したもので、恒常的な事業の業績を測る当社の利益指標です。

【セグメント別の業績】

(単位：百万円)

	売上高				事業利益			
	当中間期	前中間期	増減額	増減率	当中間期	前中間期	増減額	増減率
一般用消費財事業	126,208	128,786	△2,578	△2.0%	3,628	734	2,894	394.4%
産業用品事業	26,470	28,506	△2,035	△7.1%	1,495	1,675	△180	△10.8%
海外事業	80,669	70,257	10,411	14.8%	4,542	3,497	1,045	29.9%
その他	7,779	10,964	△3,185	△29.1%	294	742	△448	△60.3%
小計	241,127	238,515	2,612	1.1%	9,962	6,649	3,312	49.8%
調整額	△42,493	△45,628	3,135	—	△407	△286	△121	—
合計	198,634	192,887	5,747	3.0%	9,554	6,363	3,191	50.2%

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

<一般用消費財事業>

当事業は、「オーラルケア分野」、「ビューティケア分野」、「ファブリックケア分野」、「リビングケア分野」、「薬品分野」、「その他の分野」で構成されています。全体の売上高は、前年同期比2.0%の減少となりました。事業利益は、販売費及び一般管理費の減少により、前年同期比394.4%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当中間期	売上比	前中間期	売上比	増減額	増減率
売上高	126,208		128,786		△2,578	△2.0%
事業利益	3,628	2.9%	734	0.6%	2,894	394.4%

(注) 売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当中間期では19,867百万円、前中間期では19,044百万円となっております。

[売上高の分野別状況]

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期	増減額	増減率
オーラルケア分野	35,900	34,472	1,427	4.1%
ビューティケア分野	11,842	11,931	△89	△0.7%
ファブリックケア分野	27,647	29,838	△2,191	△7.3%
リビングケア分野	10,187	10,814	△627	△5.8%
薬品分野	12,059	11,892	167	1.4%
その他の分野	28,570	29,836	△1,265	△4.2%

(オーラルケア分野)

当分野は、「ハミガキ」、「ハブラシ」、「デンタルリンス」等で構成されています。

ハミガキは、「クリニカPRO^{プロ}ハミガキ」や「NONIO^{ノニオ}プラスホワイトニングハミガキ」が好調に推移したことに加え、新ブランド「OCH-TUNE^{オクチューン}ハミガキ」の発売もあり、全体の売上は前年同期を上回りました。

ハブラシは、「NONIO^{ノニオ}ハブラシ」や「クリニカPRO^{プロ}ハブラシ」が好調に推移するとともに、「OCH-TUNE^{オクチューン}ハブラシ」が加わり、全体の売上は前年同期を上回りました。

デンタルリンスは、「OCH-TUNE^{オクチューン}マウスウォッシュ」の発売に加え、「NONIO^{ノニオ}プラスホワイトニングデンタルリンス」が好調に推移したことにより、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

以上により、分野全体の売上は、前年同期比4.1%の増加となりました。

(ビューティケア分野)

当分野は、「ハンドソープ」、「ボディソープ」、「制汗剤」等で構成されています。

ハンドソープは、「キレイキレイ薬用ハンドコンディショニングソープ」が好調に推移しましたが、「キレイキレイ薬用泡ハンドソープ」が伸びなやみ、全体の売上は前年同期比微減となりました。

ボディソープは、「hadakara^{ハダカラ}ボディソープ」が前年同期を下回り、全体の売上も前年同期を下回りました。

以上により、分野全体の売上は、前年同期比0.7%の減少となりました。

(ファブリックケア分野)

当分野は、「柔軟剤」、「洗濯用洗剤」等で構成されています。

柔軟剤は、改良発売した「ソフラン^{ソフラン}プレミアム消臭」が順調に推移しましたが、昨年発売した「ソフランエアリス」が前年同期を下回り、全体の売上も前年同期を下回りました。

洗濯用洗剤は、液体高濃度洗剤「NANOX^{ナノックス}one」が堅調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

以上により、分野全体の売上は、前年同期比7.3%の減少となりました。

(リビングケア分野)

当分野は、「住居用洗剤」、「台所用洗剤」等で構成されています。

住居用洗剤は、浴室用カビ防止剤「ルックプラス おふろの防カビくん煙剤」が前年同期を下回り、全体の売上も前年同期を下回りました。

台所用洗剤は、改良発売した「CHARMY Magica 酵素+」^{チャーミーマジカ}が前年同期を大幅に上回りましたが、事業効率化に向けた商品構成見直しのため、一部商品の販売を昨年終了したこともあり、全体の売上は前年同期比微減となりました。以上により、分野全体の売上は、前年同期比5.8%の減少となりました。

(薬品分野)

当分野は、「解熱鎮痛薬」、「点眼剤」、「ニキビ薬」^{ディーエックス}等で構成されています。

解熱鎮痛薬は、「バファリン プレミアム D X」が順調に推移しましたが、「バファリン プレミアム」、「バファリンA」が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

点眼剤は、「スマイル40ゴールド」シリーズが順調に推移するとともに、眼疲労・かすみ・充血・かゆみのこれらすべての症状を治す新製品「スマイル40 プレミアム ザ・ワン」がお客様のご好評をいただき、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

ニキビ薬は、「ベアアクネクリームW」が好調に推移し、また、足用冷却シートは、「体足時間 足すっきりシート」が好調に推移し、全体の売上はそれぞれ前年同期を大幅に上回りました。

以上により、分野全体の売上は、前年同期比1.4%の増加となりました。

なお、当中間期中に、外用消炎鎮痛剤「ハリックス」及び、ドリンク剤「グロンサン」、「グロモント」の各ブランドを他社に譲渡しました。

(その他の分野)

当分野は、ペット用品、ギフト・ノベルティ、歯科ルート品等で構成されています。

ペット用品は、オーラルケア用品「PETKISS」^{ペットキッス}や猫用トイレの砂「ニオイをとる砂」が堅調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

ギフト・ノベルティは、市場縮小等の影響を受け、前年同期を下回りました。

分野全体の売上は、昨年、機能性食品事業を終了したこともあり、前年同期比4.2%の減少となりました。

<産業用品事業>

当事業は、タイヤ用ゴムの防着剤等を取り扱う「モビリティ分野」、二次電池用導電性カーボン等の「エレクトロニクス分野」、施設・厨房向け洗浄剤等の「業務用洗浄剤分野」等で構成されており、全体の売上高は、前年同期比7.1%の減少となりました。事業利益は、前年同期比10.8%の減少となりました。

(単位：百万円)

	当中間期	売上比	前中間期	売上比	増減額	増減率
売上高	26,470		28,506		△2,035	△7.1%
事業利益	1,495	5.6%	1,675	5.9%	△180	△10.8%

(注) 売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当中間期では7,930百万円、前中間期では9,741百万円となっております。

モビリティ分野では、タイヤ用ゴムの防着剤が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

エレクトロニクス分野では、二次電池用導電性カーボンが前年同期を下回り、全体の売上も前年同期を下回りました。

業務用洗浄剤分野では、衣料用洗剤が好調に推移するとともに、ハンドソープも順調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

<海外事業>

海外は、タイ、マレーシア等の東南・南アジア、中国、韓国等の北東アジアにおいて事業を展開しております。全体の売上高は、前年同期比14.8%の増加(為替変動の影響を除いた実質前年同期比は6.6%の増加)となりました。事業利益は、前年同期比29.9%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当中間期	売上比	前中間期	売上比	増減額	増減率
売上高	80,669		70,257		10,411	14.8%
事業利益	4,542	5.6%	3,497	5.0%	1,045	29.9%

(注) 売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当中間期では7,621百万円、前中間期では6,842百万円となっております。

[地域別状況]

(単位：百万円)

		当中間期	前中間期	増減額	増減率
東南・南アジア	売上高	48,337	42,663	5,674	13.3%
	事業利益	2,836	2,047	789	38.6%
北東アジア	売上高	32,331	27,594	4,737	17.2%
	事業利益	1,706	1,449	256	17.7%

(地域別の状況)

東南・南アジア全体の売上高は、前年同期比13.3%の増加(為替変動の影響を除いた実質前年同期比は5.9%の増加)、事業利益は38.6%の増加となりました。

タイでは、洗濯用洗剤「Pao^{パオ}」や、ボディソープ「植物物語」が順調に推移し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を上回りました。

また、マレーシアでは洗濯用洗剤「トップ」が前年同期を大幅に上回り、円貨換算後の全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

北東アジア全体の売上高は、前年同期比17.2%の増加(為替変動の影響を除いた実質前年同期比は7.6%の増加)、事業利益は17.7%の増加となりました。

中国では、ハミガキ「ホワイト&ホワイト」が順調に推移するとともに、ハブラシ「システム」が好調に推移し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

また、韓国では洗濯用洗剤「BEAT^{ビート}」や、点眼剤「Eyemiru^{アイミル}」が好調に推移し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

<その他>(建設請負事業等)

(単位：百万円)

	当中間期	売上比	前中間期	売上比	増減額	増減率
売上高	7,779		10,964		△3,185	△29.1%
事業利益	294	3.8%	742	6.8%	△448	△60.3%

(注) 売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当中間期では7,073百万円、前中間期では9,999百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当中間期における資産、負債および資本の状況
(連結財政状態)

	当中間 連結会計期間末	前連結会計年度末	増減
資産合計(百万円)	482,251	486,363	△4,112
資本合計(百万円)	304,326	298,134	6,192
親会社所有者帰属持分比率(%)	59.2	57.6	1.5

資産合計は、現金及び現金同等物の減少等により、前連結会計年度末と比較して41億1千2百万円減少し、4,822億5千1百万円となりました。資本合計は、61億9千2百万円増加し、3,043億2千6百万円となり、親会社所有者帰属持分比率は59.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月14日に公表いたしました通期の連結業績予想については変更しておりません。

予想算出時の想定為替レート(年間平均)は、145円/米ドル、4.0円/パーツです。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	85,526	74,969
営業債権及びその他の債権	75,230	74,619
棚卸資産	56,090	59,591
その他の金融資産	12,276	9,526
その他の流動資産	3,151	3,825
流動資産合計	232,274	222,531
非流動資産		
有形固定資産	140,671	138,881
のれん	327	327
無形資産	22,712	21,963
使用権資産	31,313	30,808
持分法で会計処理されている 投資	17,487	20,531
繰延税金資産	4,357	4,379
退職給付に係る資産	10,826	11,172
その他の金融資産	25,475	30,782
その他の非流動資産	917	872
非流動資産合計	254,089	259,719
資産合計	486,363	482,251

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	126,158	118,241
借入金	148	—
未払法人所得税等	2,508	5,547
引当金	2,399	3,247
リース負債	2,043	2,120
その他の金融負債	2,363	943
その他の流動負債	7,711	5,372
流動負債合計	143,333	135,472
非流動負債		
繰延税金負債	5,847	6,322
退職給付に係る負債	4,531	1,893
引当金	2,046	2,061
リース負債	28,150	27,795
その他の金融負債	2,452	2,501
その他の非流動負債	1,867	1,878
非流動負債合計	44,896	42,452
負債合計	188,229	177,924
資本		
資本金	34,433	34,433
資本剰余金	31,118	31,150
自己株式	△7,868	△8,729
その他の資本の構成要素	18,377	24,938
利益剰余金	204,255	203,489
親会社の所有者に帰属する 持分合計	280,316	285,282
非支配持分	17,817	19,043
資本合計	298,134	304,326
負債及び資本合計	486,363	482,251

(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

要約中間連結損益計算書

中間連結会計期間

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年 1月 1日 至 2023年 6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年 1月 1日 至 2024年 6月30日)
売上高	192,887	198,634
売上原価	△107,032	△108,303
売上総利益	85,854	90,330
販売費及び一般管理費	△79,491	△80,776
その他の収益	757	4,216
その他の費用	△876	△412
営業利益	6,244	13,357
金融収益	661	1,126
金融費用	△441	△420
持分法による投資利益	764	1,453
税引前中間利益	7,229	15,517
法人所得税費用	△2,132	△4,289
中間利益	5,096	11,227
中間利益の帰属		
親会社の所有者	4,298	9,931
非支配持分	798	1,296
中間利益	5,096	11,227
1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益(円)	15.12	35.76
希薄化後1株当たり中間利益(円)	15.09	35.71

要約中間連結包括利益計算書

中間連結会計期間

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年 1月 1日 至 2023年 6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年 1月 1日 至 2024年 6月30日)
中間利益	5,096	11,227
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産の純変動	1,281	1,108
確定給付型退職給付制度の再測定額	2,853	1,950
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	△5	14
純損益に振り替えられることのない項目 合計	4,129	3,073
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動	46	22
在外営業活動体の換算差額	4,853	6,753
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	4,899	6,775
税引後その他の包括利益合計	9,029	9,848
中間包括利益	14,125	21,076
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	12,349	18,615
非支配持分	1,776	2,460
中間包括利益	14,125	21,076

(3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動	確定給付型退職給付制度の再測定額
2023年 1月 1日残高	34,433	31,069	△8,056	123	8,930	—
中間利益 その他の包括利益					1,248	2,853
中間包括利益合計	—	—	—	—	1,248	2,853
配当金 自己株式の取得 自己株式の処分 株式報酬取引 支配継続子会社に対する持分変動 その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		1	△0 189	△73		△2,853
所有者との取引額等合計	—	1	189	△73	△387	△2,853
2023年 6月30日残高	34,433	31,071	△7,867	50	9,792	—

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			利益剰余金	合計			
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計					
2023年 1月 1日残高	△42	4,953	13,966	192,842	264,255	14,912	279,168	
中間利益 その他の包括利益	46	3,903	8,050	4,298	8,050	978	9,029	
中間包括利益合計	46	3,903	8,050	4,298	12,349	1,776	14,125	
配当金 自己株式の取得 自己株式の処分 株式報酬取引 支配継続子会社に対する持分変動 その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			— △73	△3,695 △63	△3,695 53	△553 158	△4,248 53 1 158	
所有者との取引額等合計	—	—	△3,313	△517	△3,640	△395	△4,035	
2023年 6月30日残高	4	8,856	18,703	196,623	272,964	16,293	289,257	

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動	確定給付型退職給付制度の再測定額
2024年 1月 1日残高	34,433	31,118	△7,868	50	10,227	—
中間利益						
その他の包括利益					1,121	1,950
中間包括利益合計	—	—	—	—	1,121	1,950
配当金						
自己株式の取得			△10,000			
自己株式の処分			17			
自己株式の消却			9,122			
株式報酬取引		31				
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替					△172	△1,950
所有者との取引額等合計	—	31	△861	—	△172	△1,950
2024年 6月30日残高	34,433	31,150	△8,729	50	11,176	—

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			利益剰余金	合計			
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計					
2024年 1月 1日残高	△21	8,122	18,377	204,255	280,316	17,817	298,134	
中間利益			—	9,931	9,931	1,296	11,227	
その他の包括利益	22	5,589	8,684		8,684	1,164	9,848	
中間包括利益合計	22	5,589	8,684	9,931	18,615	2,460	21,076	
配当金			—	△3,697	△3,697	△1,234	△4,932	
自己株式の取得			—		△10,000		△10,000	
自己株式の処分			—		17		17	
自己株式の消却			—	△9,122	—		—	
株式報酬取引			—		31		31	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			△2,123	2,123	—		—	
所有者との取引額等合計	—	—	△2,123	△10,696	△13,649	△1,234	△14,884	
2024年 6月30日残高	0	13,711	24,938	203,489	285,282	19,043	304,326	

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年 1月 1日 至 2023年 6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年 1月 1日 至 2024年 6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	7,229	15,517
減価償却費及び償却費	10,010	10,335
減損損失	12	9
受取利息及び受取配当金	△450	△729
支払利息	388	391
持分法による投資損益(△は益)	△764	△1,453
固定資産処分損益(△は益)	343	172
事業譲渡益	—	△3,425
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	6,709	2,694
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,880	△2,338
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△11,161	△6,738
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△506	△271
その他	△3,384	△4,210
小計	3,546	9,954
利息及び配当金の受取額	1,038	981
利息の支払額	△16	△32
法人所得税の支払額又は還付額(△は支払)	△1,429	△1,903
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,139	9,000
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△1,943	124
有形固定資産の取得による支出	△11,234	△8,188
有形固定資産の売却による収入	12	1
無形資産の取得による支出	△580	△366
使用権資産の取得による支出	△427	—
その他の金融資産の取得による支出	△151	△662
その他の金融資産の売却による収入	155	468
関係会社株式の取得による支出	△7,087	△102
事業譲渡による収入	—	3,663
その他	△113	35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,369	△5,027

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年 1月 1日 至 2023年 6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年 1月 1日 至 2024年 6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,150	—
長期借入金の返済による支出	△140	△152
配当金の支払額	△3,690	△3,695
非支配持分への配当金の支払額	△553	△1,234
リース負債の返済による支出	△1,256	△1,312
自己株式の取得による支出	△0	△10,000
非支配株主からの払込による収入	158	—
その他	1	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,633	△16,396
現金及び現金同等物に係る換算差額	961	1,866
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△23,901	△10,556
現金及び現金同等物の期首残高	101,078	85,526
現金及び現金同等物の中間期末残高	77,176	74,969

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。国内の関係会社は、製品・サービスの特性に応じて営業活動を行っております。

海外の関係会社は、独立した経営単位であり、地域の特性に応じて営業活動を行っております。

したがって、当社グループは、事業本部および会社を基礎とした製品・サービス別および地域別のセグメントから構成されており、「一般用消費財事業」、「産業用品事業」、「海外事業」の3つの報告セグメントに区分しております。

当社グループの報告セグメントは、以下のとおりであります。

① 一般用消費財事業

主に日本において、日用品、一般用医薬品の製造販売および売買を行っております。

(主要製品)ハミガキ、ハブラシ、ハンドソープ、解熱鎮痛薬、点眼剤、栄養ドリンク剤、洗濯用洗剤、台所用洗剤、柔軟剤、住居用洗剤、漂白剤、ペット用品

② 産業用品事業

主に日本において、化学品原料、業務用品等の製造販売および売買を行っており、海外諸地域への製造販売および売買も含まれます。

(主要製品)油脂活性剤、導電性カーボン、業務用洗剤

③ 海外事業

海外の関係会社において、主に日用品の製造販売および売買を行っております。

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本において当社の子会社が、主に当社グループ内の建設請負、不動産管理、人材派遣等を行っております。

(2) 報告セグメントの売上高および業績

前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注)2	連結 (注)3
	一般用 消費財事業	産業用品 事業	海外事業				
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	109,742	18,764	63,414	964	192,887	—	192,887
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1	19,044	9,741	6,842	9,999	45,628	△45,628	—
計	128,786	28,506	70,257	10,964	238,515	△45,628	192,887
事業利益	734	1,675	3,497	742	6,649	△286	6,363
その他の収益							757
その他の費用							△876
営業利益							6,244
金融収益							661
金融費用							△441
持分法による投資利益							764
税引前中間利益							7,229

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 事業利益の調整額 △286百万円は、主に内部取引消去額および報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

3 売上総利益から事業利益への調整は以下のとおりです。

売上総利益	85,854百万円
販売費及び一般管理費	△79,491百万円
事業利益	6,363百万円

事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除した利益であり、当社の取締役会では事業利益に基づいて事業セグメントの実績を評価しております。

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注)2	連結 (注)3
	一般用 消費財事業	産業用品 事業	海外事業				
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	106,341	18,540	73,048	705	198,634	—	198,634
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1	19,867	7,930	7,621	7,073	42,493	△42,493	—
計	126,208	26,470	80,669	7,779	241,127	△42,493	198,634
事業利益	3,628	1,495	4,542	294	9,962	△407	9,554
その他の収益							4,216
その他の費用							△412
営業利益							13,357
金融収益							1,126
金融費用							△420
持分法による投資利益							1,453
税引前中間利益							15,517

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 事業利益の調整額 △407百万円は、主に内部取引消去額および報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

3 売上総利益から事業利益への調整は以下のとおりです。

売上総利益	90,330百万円
販売費及び一般管理費	△80,776百万円
事業利益	9,554百万円

事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除した利益であり、当社の取締役会では事業利益に基づいて事業セグメントの実績を評価しております。